

大月町

議会だより

91号

12月定例会

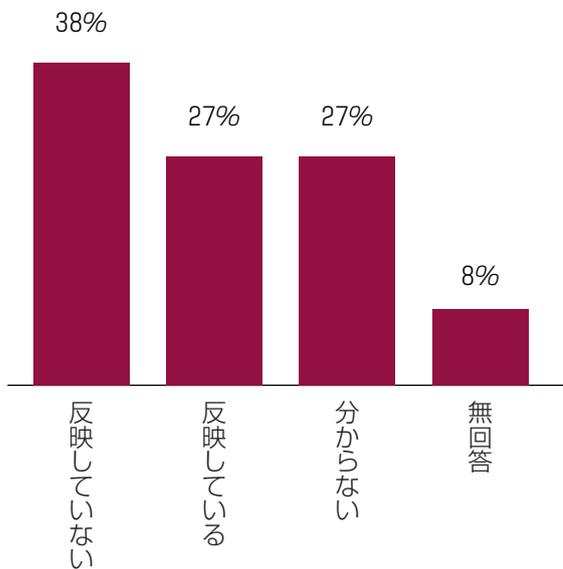
議会に関する町民アンケート実施

平成30年2月1日発行 高知県大月町議会

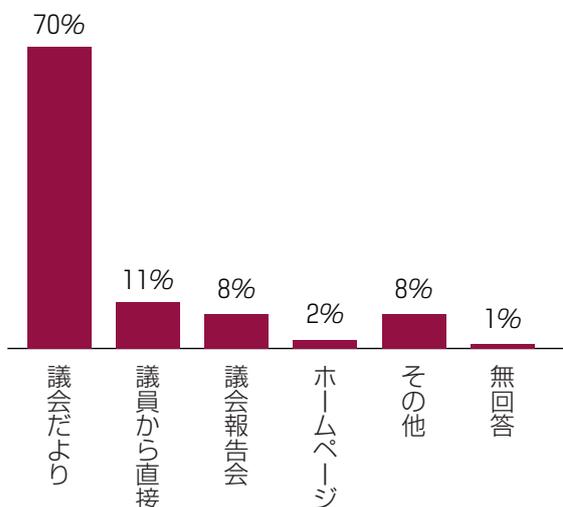
指針

調査期間	平成29年10月から11月
対象者	414名無作為抽出
回答者	125名
回収率	30%

町政に町民の声を反映しているか



情報はどこから得ているか



12月定例会

平成29年12月定例会は7日から12日までの会期で開き、陳情1件、補正予算の専決1件、契約2件、条例7件、補正予算10件、連携協約1件、人事案件1件、意見書2件の計25議案を審議し原案のとおり可決しました。

一般質問は5人が登壇し、執行部をただしました。

もくじ

- 2 P 町民アンケート結果
- 4 P 補正予算等
- 6 P 一般質問
- 12 P 研修報告
- 14 P 二元代表制
- 15 P みんなの広場
- 16 P こんにちは

表紙写真によせて



1月、朝の冷たい空気をいっぱいを受けて小学生の朝練が始まった。

「よし、やるぞ！」引き締まった顔が印象的だ。

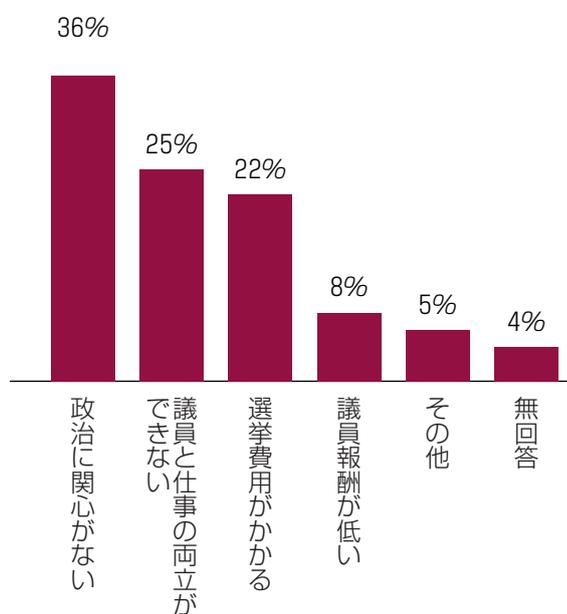
議会に関する町民アンケート

この声は改革の

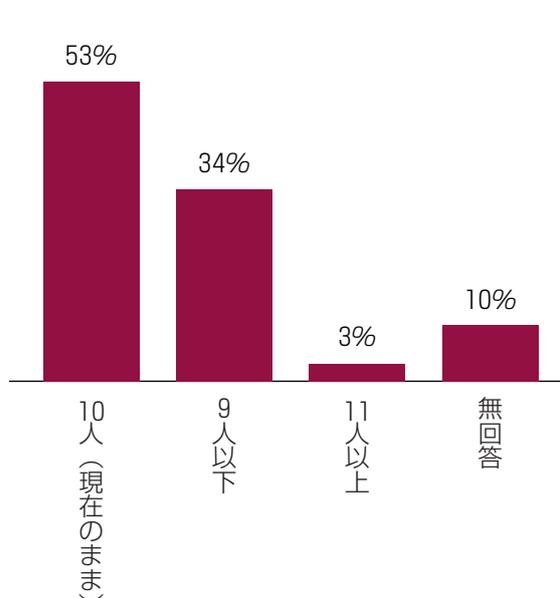
議会改革特別委員会は、町民に分かりやすい開かれた議会づくりに向けて、議会に対する考えや意見を把握することでより良い議会運営に反映させることを目的に、12項目のアンケート調査を実施しました。その一部を報告します。

たくさんの方のご協力をいただき、ありがとうございました。

議員のなり手不足は何が原因か



議員定数は何人がよいか



結果報告(要旨)

▼心のこもった意見を受け取りました。これからも今まで以上に議員一人ひとりが町民との対話を積極的に行い、町民の声を町政に反映して、議会の大切さを理解していただくよう努めていきます。

▼議会だよりは、以前より読みやすくなり、活動状況が分かって良いとの好意的な意見が見られました。町民にとつての議会だよりは、議会を知る身近な情報源であると考えられます。また、議会だよりのみならず、さまざまな手段を使って情報提供していくと同時に、町民との意見交換の場として「議会報告会」の継続的な開催が必要であり、今後も創意工夫し情報発信に努めていきます。

▼自由記載では、45件の議会への意見、要望がありました。その内容は、議会や議員に対する提言として、「議員の資質向上を図る」「議会や議員の活動が見えない」「町民との対話がない」「町民や地域の声が町政に反映されていない」等々でした。

▼また、町政に対する要望、議員定数や議員報酬に関すること、議会・議員活動の伝達方法、議会や議員に対する励ましや要望など貴重な意見も頂きました。

▼本アンケート調査を踏まえ、町民の皆さんから頂いた意見を真摯に受け止め、今後も信頼される議会として、さらなる改革を進めていきます。

一般会計 補正 4343万円

会計名		補正額	総額
一般会計【専決】		869万円	48億9789万円
一般会計		4343万円	49億4132万円
特別会計	特別養護老人ホーム	0円	3億3877万円
	国民健康保険	16万円	11億9910万円
	水道	△107万円	3億3794万円
	介護保険	277万円	8億3839万円
	後期高齢者医療	16万円	1億505万円
	給与等集中処理	357万円	9億6963万円
病院事業		804万円	5億3881万円

各補正予算、請負契約変更、陳情、条例の一部改正、意見書、連携協約（全員賛成）

主な使い道

- ◆ 一般会計専決は衆議院選挙費用

869万円



- ◆ 病院事業会計繰入金 654万円
- ◆ ごみ処理施設負担金 922万円
- ◆ 農地農業用施設現年災害復旧工事 160万円
- ◆ 農業用施設維持補修工事 50万円
- ◆ 町管理漁港施設機能保全事業調査委託料 250万円
- ◆ 町道維持補修工事 120万円
- ◆ 長寿命化修繕計画橋梁点検委託料 929万円
- ◆ 幡西消防組合負担金分署経費 102万円

陳情

◆ 「子どものための予算を大幅に増やし、国の責
任で安心できる保育の実現を求める意見書提
出」の陳情

- 認可保育所の整備、保育士などの処遇改善を求めるもの。

条例の一部改正

- ① 大月町一般職員の給与に関する条例
- ② 大月町技能職員の給与の種類及び基準を定める条例
 - ①②とも人事院勧告に準拠して改正。
- ③ 大月町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- ④ 町長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例
 - ③④とも県に準拠して改正。
- ⑤ 大月町職員の育児休業等に関する条例
 - 非常勤職員は、子どもが2歳に達する日まで育児休業を取れる。
- ⑥ 大月町個人情報保護条例
 - 国の改正に伴い個人情報定義や罰則を追加する。
- ⑦ 大月町老人憩の家設置条例
 - 老朽化した周防形老人憩の家を取り壊したため、本条例から削除する。

大月町簡易水道施設整備工事（姫ノ井）

請負契約の変更



第1工区 工区の延長および舗装等を追加

◆相手方

久米建設株式会社

◆契約金額

変更前金額 74,017,800円
変更後金額 89,064,360円
増 額 15,046,560円

◆工期

平成29年6月22日から
平成30年3月23日まで
(35日延長)



第2工区 舗装等を追加

◆相手方

久米建設株式会社

◆契約金額

変更前金額 92,611,080円
変更後金額 98,964,720円
増 額 6,353,640円

◆工期

平成29年6月22日から
平成30年3月23日まで
(35日延長)



姫ノ井
藤原 遵子
じゅんこ
氏

◆人事
◆人権擁護委員（推薦）

◆高知市及び大月町におけるれんけいこうち
広域都市圏形成に係る連携協約の締結
・大月町と高知市が連携して、移住、観光、
地場産品販売を進めるもの。

◆連携協約

◆子どものための予算を大幅に増やし、国の責
任で安心できる保育の実現を求める意見書
◆「道路整備事業に係る国の財政上の特例措置に
関する法律」第2条に規定する国の負担又は
補助の割合の特例の継続等に関する意見書
・道路整備を進め、国の負担や補助の割合
の特例は継続することを求めるもの。

◆意見書



大月町マグロ祭り 注目のマグロ解体ショー

質問一覧

谷 正美 議員

- 風車の取り組み
- マグロの取り組み

野村満久 議員

- 町内における再生可能エネルギー
ー普及の考え方

久米里志 議員

- ほっとセンター環境整備
- 町道の危険箇所対策

浦木秀雄 議員

- 観光開発計画・環境保護対策
- 準要保護世帯の負担軽減
- 田城川氾濫防止策

高野真司 議員

- 観光開発
- 友好姉妹町
- 感震ブレイカーの設置

12月定例会の傍聴者は
39名でした。

次回定例会は**3月**の予定です。
傍聴のお問い合わせは
議会事務局までお願いします。
(電話：0880-73-1682)

大洞山風車の活用

観光活用の考えを聞く

町全体の活性化を図る／町長

岡 県は現在開催している維新博の後、体験型観光に力を入れていくとのこと。

町も県と連携し、風車を観光資源として体験型観光を取り入れるべきだと考える。町活性化に向けた観光ビジョンを聞く。

岡田町長 活用方法としていろいろなアイデアがあると思うが、道の駅を中心とした周遊バスなど町の観光産業として必要と考える。



1点目は、豊かな自然を後世につなぐ環境保全。2点目は、観光産業に潤いを与え、町全体の活性化を図る。3点目は、観光の町としてPRし、外商、移住等の展開も必要と考える。

取り組みが遅れた理由は

関係団体との協議が必要／町長

岡 大洞山の風車が完成した。観光資源として活用することは計画当初よりあった。

本来なら現時点で具体的な取り組みができていなければならない。これまで遅れた理由は、



観光資源としての活用に期待

地元の体制をどう整えておくかが重要課題である。観光協会が主体となった観光振興、そして行政と積極的な話し合いの場が必要とされている。今後においては遅れを取り戻すべく発電事業者とも話し合いを進めていく。

マグロの町として

安く提供できる仕組みを

最大の課題と考えている／町長

岡 町内でマグロを食べられる仕組みが必要である。地域グルメ委員会を取り組んでいるが、高級食材ゆえに飲食業者もリスクがある。

安く仕入れる仕組みとして、ふるさと振興公社でマグロを扱えないか。各マグロ業者から一本買いをすればコストは下げられる。安く提供できる仕組み作りを考えるべきではないか。

岡田町長 最大の課題と考えている。今後、業者と踏み込んだ協議をしていく。公社で扱えないかとの提案については、マイナス60度の冷凍庫が必要であり、今後、公社等が主体にならないければならない事業と認識している。

岡 まちづくり推進課を設立したのは未来創生のためではなかったか。マグロを利用し町を売り出すならば、事案としてはまちづくり推進課で取り組むべきでなかったか。産業振興課で進めている理由は。

岡田町長 マグロは水産業であり、水産振興の面から部門的には産業振興課となる。まちづくり推進課とは密な連携をしている。その方向で進めていきたい。



マグロで活性化を

再生可能エネルギー

普及の考え方は

新エネルギービジョンを推進／町長



野村満久 議員



再生可能エネルギーの有効活用を

問 地球温暖化対策が重要視される中、その影響と思われる西南豪雨や海水温上昇など、各地で異常気象による被害や現象が報告されている。温室効果ガス削減が世界的に取り組まれる中、本町における再生可能エネルギーの普及をどのように考えているか。

岡田町長 平成15年に大月町地域新エネルギービジョンを策定し、中でも重点的なプロジェクトとして風力発電事業を誘致している。その他、防災事業等と関連付け、長期避難施設照明のLED化や、非常用電源として太陽光発電整備も導入している。今後もこの事業を推進していく。

要望書に関する答申は

再度協議していく／町長

問 大洞山の風車が完成すると、高知県が中期目標としている風力発電量の半分近くを大月町で発電することになる。県は小風力発電事業も推奨している。町でも小風力発電事業に関する要望書が橋



山頂に設置された小風力発電

浦・安満地地区から6月に提出されているが、町としての答申は、**岡田町長** 開発行為のため、慎重に進めている。12月に再度協議をして方針を決めていく。

排水対策を

早急に対応／町長

ボール練習場になって
いるので、校舎の方に
影響が出るのではない
かと思っている。作る
とすれば、東側の炊事
場の前だと思っている。

問 現在、ほっとセン

ターでは高齢者や障害
者、子どもたちなど、
年間1万4000人ほ
どが利用している。雨
が降るたびにグラウン
ドが池のようになり、
利用者が大変不便を強
いられている。早急に
排水対策ができないか。

問 ほっとセンターの

駐車場は狭く、駐輪場
も活用できていない。
その対策として、厨房
前の植木を取り除き、
駐車場・駐輪場にでき
ないか。

問 裏門からの道路で

よく事故がある。プー
ル横側を通って正門に
出る道はできないか。

岡田町長 プールの横

側の道は私道というこ
とで、地権者と話がつ
けば対応する。

岡田町長 水たまりの

原因は把握しているの
で、早急に対応するよ
う検討する。

岡田町長 駐輪場は校

舎の裏側に完全に整備
されていて。花壇を壊
すと、子供会のソフト



久米里志 議員



池になった校庭

町道の危険箇所対策

転落防護柵の設置を

次年度予算で対応／町長



安全な道を

問 街灯・転落防護柵

が無いために、夜間に
川に転落する死亡事故
があった。二度とこの
ような事故が起きない
よう危険箇所の対策を。

岡田町長 死亡事故が

発生した場所には、宿
毛警察署立ち合いで対
策を講じている。また、
危険箇所については転
落防護柵を設置するな
どの対応をしていかな
くてはならないと考え
ている。地区別行政懇
談会でも各地区から同
様の意見・要望が多く
出ており、30年度予算
に対応できるものは対
応していく。

岡田町長 死亡事故が

発生した場所には、宿
毛警察署立ち合いで対
策を講じている。また、
危険箇所については転
落防護柵を設置するな
どの対応をしていかな
くてはならないと考え
ている。地区別行政懇
談会でも各地区から同
様の意見・要望が多く
出ており、30年度予算
に対応できるものは対
応していく。

観光・環境問題

開発計画の必要性は

観光行政に取り組む／町長



浦木秀雄 議員

問 大月町にはたくさんの財産がある。大洞山、白浜、流さんの彫刻、お猿公園、柏島、大堂、樫西、サンゴの発祥地・小才角などを含めた大月町全体の観光開発計画を作る必要があるのではないか。

岡田町長 高知県の観光コンベンション協会、幡多観光、大月町観光協会とも十分協議して観光行政に取り組んでいきたい。観光地間の連携も進めていく。

問 環境保護対策にはいろいろあるが、当面、ごみの不法投棄を許さない取り組みをすべきではないか。

岡田町長 ごみ対策は非常に頭の痛い問題だ。捨ったところにまたごみが捨てられている。町民と一緒に作った対応が大切だ。モラルの

問題も含めて広報等で知らせていく。補助制に結び付けていく。度が活用できれば撤去

河川問題

田城川氾濫防止策を

地元で協議に行く／町長

問 20数年前、国営農地を作って以来、田城川の氾濫で人家や田んぼに被害を及ぼしている。迂回路を作って弘見川に流すなど、氾濫防止策はとれないか。

岡田町長 抜本的な対応をしないと解決しない。補助制度がないので多額の費用がかかる。田城地区に向き、これから協議の場を持つていきたい。



すばらしい景観の大堂海岸



氾濫の元になる弘見川・田城川合流地点

教育問題

準要保護世帯の負担軽減を

検討課題だ／教育長

問 県下の半数を超える市町村が、準要保護世帯の生徒会費・PTA会費を支給している。約76万円あれば支給できるのにどうして支給しないのか。

浜崎教育長 教育委員会の定例会で、漢検、英検、数検が必要と判断して出している。生徒会費・PTA会費は今後の検討課題。

問 2005年の就学奨励法施行令で民生委員の意見を聞くことが削除された。プライバシーの問題もあり、民生委員の意見を聞くことをやめるべきではないか。

浜崎教育長 準要保護費は大月町の判断で支給するので、民生委員の意見をこれからも聞く。

観光開発

道路沿いの景観改善を

住民参加で進めていく／町長

岡 町内の幹線道路沿いには、四季折々花が咲いてきれいだと過去には言われていた。

才角・小才角間のノジグク植栽には多くのボランティアが参加した。

青い海の太平洋と白い可憐な花が調和し、心和むノジグク街道ができていた。

町内ではコスモスやヒマワリが育てられ、大月町のイメージ向上に貢献しているが、足摺からの観光客が最初



高野真司 議員

に訪れる小才角海岸沿いなど、町内全域の幹線道路沿いの花壇が雑草で覆われている。

景観改善に取り組む必要があるのではないか。

岡田町長 各地区のボランティアで手入れされてきたが、現在は四万十街道大月支部が取り組んでいる花街道の活動がある。

まちづくり総合支援事業補助金の中に環境美化活動に取り組む組織への補助制度があるので、多額の予算は難しいが活動にその補助金を利用していただき

友好姉妹町

姉妹町の検討は

取り組みは進めている／町長



心和む花壇に

岡 友好姉妹町を提携していた吉井町が合併したことで自然消滅している。

町長は、福祉面・観光面・防災関連なども踏まえて復活し実施しなければならぬと答弁して2年以上経過した。

友好姉妹町について検討しているのか。

岡田町長 友好姉妹町の提携には相手方からの要望等もあるので一挙にはいかないが、取り組みは進めている。

感震ブレーカー

感震ブレーカー設置を

補助制度を国に要望／町長

岡 地震時の火災は避難した後の被災現場に発生している。その原因は災害後の通電による火災も報告されている。

家屋が倒壊すると、配電の損傷箇所や家電製品からの出火の可能性が高くなる。

地震時の火災は、倒壊した住宅だけにとどまらず、周辺に広がるのが予想される。その対策として感震ブレーカー設置を提案する。

岡田町長 感震ブレーカーは、電気火災を防止する有効な手段であり、各家庭への普及を進めていく必要があるが、現時点で本町独自の設置には多額の財

政負担を伴う。

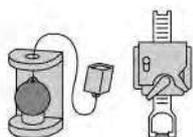
高知県の町村長・議長大会で南海地震対策を推進するため、簡易型感震ブレーカー設置を補助する制度の創設を、国に早急な措置を講じられるよう、大会決議として要望を出している。

簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を切断します。

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家庭量販店で購入可能（電気工事不要）



感震ブレーカーイメージ図

学んだこと



益城町との話し合い



釣り天井が落ちたままの議場

熊本県益城町

ましきまち

10月18日、熊本県益城町で「熊本地震からの復旧・復興に向けた取り組み」について研修しました。

平成28年4月14日、益城町を襲った1回目の地震はマグニチュード6.5、2回目の地震はマグニチュード7.3の直下型地震でした。

役場に案内されると、土地は20cmくらい陥没し、鉄筋の建物は至る所に亀裂が走り、建物が浮き上がっているように見えました。議場は、釣り天井が落ちたまま地震のすごさを物語っていました。

地震が起こることさえ予想していなかった役場職員は、対応に追われたそう、その中で得た教訓を学んできました。

地震4つの教訓

- ①地震の後、住民は情 じ、確かな情報を伝え 報が欲しかったが、防 が必要がある。
- ②罹災証明書が取れな いる必要がある。
- ③派遣職員は、地元 災デジタル無線は使え 人の顔と名前が一致し なかった。FMラジオ ない。そのため、仮設 など、情報を伝える方 トイレの掃除、ゴミの 法を複数用意しておく 分別、駐車場の整理な 必要がある。
- ④地震発生後、炊き出 保が大切。
- ⑤派遣職員は、地元 罹災証明書の発行など本 来の業務が遅れた。
- ⑥罹災証明書が取れな 住民・行政の役割分 いる必要がある。
- ⑦罹災証明書が取れな 担を明確にし、自助・ いる必要がある。
- ⑧罹災証明書が取れな 共助・公助のあり方を いる必要がある。
- ⑨罹災証明書が取れな 事前に話し合う必要が いる必要がある。
- ⑩罹災証明書が取れな ために、時間を決め 済んだ。ボランティア いる必要がある。
- ⑪罹災証明書が取れな ために、時間を決め 済んだ。ボランティア いる必要がある。
- ⑫罹災証明書が取れな ために、時間を決め 済んだ。ボランティア いる必要がある。

研修視察で



大任町との話し合い



1億円のトイレ（道の駅）

おおとうまち

福岡県大任町

翌19日は、福岡県大任町の道の駅「桜街道」を研修視察しました。

役場に入ると、事務をしている職員が「おはようございます」と気持ちの良いあいさつで出迎えてくれました。会議室に現れた町長は、にこにこして気さくに話しかけてくれました。

町長を中心に改革に取り組む大任町の特徴を紹介します。

道の駅を中心としたまちづくり

- ①まず、職員の意識改革として1億円のトイレ革を進める。一番大切なのは、あいさつ、笑顔、ボランティアだとして、この3つの観点で人事評価をし、給料に反映させている。そこから職員のやる気が生まれている。
- ②1万本の桜を道に植え、「桜街道」とした。その結果、多くの人が大任町に来るようになった。
- ③1万坪の敷地に道の駅を建設。集客の目玉
- ④町直営の納豆・ニンニク球作りを進め、もうけたお金で新たな事業を目指している。
- ⑤町外から子どものいる家庭を積極的に大任町に迎え入れるよう、32世帯の木造平屋建て住宅を建設中。地元の大工さんも潤っている。以上、大任町の特徴は、民間企業の考えを役場に取り入れたことです。肝心なのは、町長の前向きな提案です。このことを大任町も積極的に学ぶ必要があります。

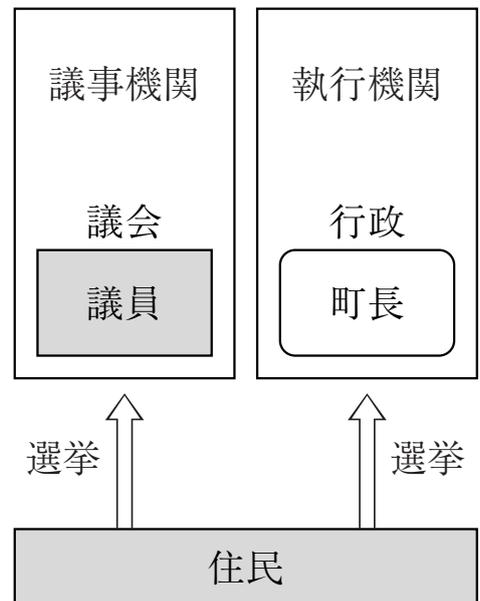
教えて
議会の
あれこれ



行政と議会の関係

に げん だい ひょう せい

二元代表制

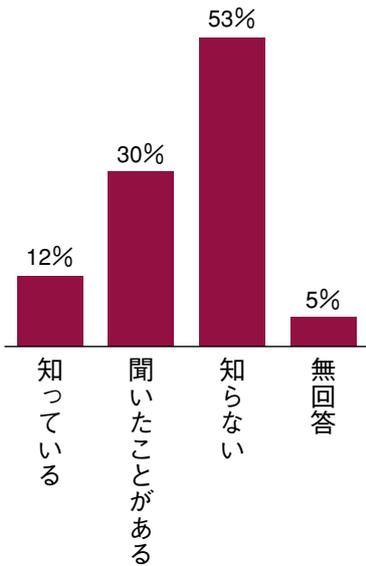


昨年実施した「議会に関する町民アンケート」

調査によると、左のグラフのように半数を超える人が「二元代表制」について知らないと答えています。

そこで、今回は行政と議会の関係（二元代表制）について取り上げてみました。

二元代表制の認知度



二元代表制とは

難しいことを言う

問

わかれてもむしろは分からんけん、やさしく教えてや。

二元代表制って何。

答

皆さんは、行政の長である町長と議会を構成する議員を、選挙で直接選ぶでしょう。この2つの代表を直接選挙で選ぶ度を「二元代表制」と言っています。

二元代表制を採用するわけ

どうして、二元

問

代表制にしているの。

答

それはね、行政と議会、それぞれに役割を持たせることによって、住民のための仕事をしっかりとさせるためなんです。

行政と議会の関係

問

へえ、そうなんだ。じゃあ、行政と議会の関係はどんな

っているの。

町長は、住民の

答

ことを考えて予算を組みます。議会は、この予算が

問

本間に住民のためにやるかどうかをチェックしているのです。車に例えれば、執行機関である町長は車を走らせます。この車のアクセルを踏んだり、ブレーキをかけたりますのが議事機関である議会なのです。

国との違いは

地方自治体と国の

問

の制度は違うように思うんだけど、どううちがうの。

答

大月町のような地方自治体は「二元代表制」をとり、国は、「議院内閣制」をとっています。

議院内閣制とは、国民が直接選挙で選んだ議員で構成される議会が、首相を指名し、その首相が内閣を組織する仕組みを言います。

みんなの 広場 私の願い

子どもの幸せのための社会を

西泊 横田勝子^{しよつこ}さん

私は学校の用務員を36年間勤め、退職後は地域福祉の一助との思いで、福祉ボランティアの仲間と赤ちゃん訪問から高齢者までの支援をしています。

その中で、大月の宝、国の宝の子どもたちに健やかで優しくたくましく育てほしいと願い、開かれた学校づくりや放課後子ども教室、子どもの居場所づくりなどで子どもの見守りをしながら、子どもや保護者との信頼関係を大切に課題解決に取り組んでいます。未来を創るのは、今の子どもたちです。国も県も子育て支援



地域おこしの経験から

芝 浜岡 満^{みつる}さん

平成27年に大月に移住し、3年目の終わりが近付いてきました。観光担当として大月を回って気が付いたのは、大月にはたくさん

の地区があり、それぞれが豊かな表情を持っているということでした。地区の特徴は180を超える豊富な伝統行事や祭事等に現れます。長い間受け継がれてきた行事は地区の個性です。大月は中央からは遠いが素朴で美しい土地です。次世代に魅力が伝わるよう、自分なりの方法で大月から発信を続けたいと思います。



こんにちは

生涯現役

頭集 安岡 清春・美恵子さん



立派なナスに囲まれて



18アールの園芸ハウス

長年、園芸ハウスでナス作りをしている安岡清春・美恵子さんご夫婦を訪ねました。

ご夫婦は農業一筋で、たばこ作り5年、キュウリ作り10年、ナスを栽培して42年になります。この日は、収穫したナスを選別していました。

ナスに一目ぼれ 40数年前、キュウリ作りは、手間がかかる割に収量が上がらないことで悩んでいた時、知人の誘いで旧大方町にナスのハウス栽培の視察に行き、「こんなきれいなところで作業ができるのか」と一目ぼれしたことがきっかけで今につながっています。

毎日8時過ぎにハウスに入りナスの収穫。日当たりを良くするための葉の剪定。倉庫で色や形、大きさに選別して一日の終わりです。この作業を一年中ほぼ休みなく続けています。

農業に熱い思い

最後に趣味を尋ねると、「農作業。農業は苦労が多いが好きでないと良いものは作れない。手をかければ答えてくれる。手抜きは絶対いかん。一番大事なことは3年先の土づくりをせんとかん」と農業に対する熱い思いを語ってくれました。

今は、息子さん夫婦に譲っていますが、「元気なうちは好きなナス作りの手伝いを続けていきたい」と笑顔で話していました。

編集後記

議員になってからの5年間を振り返ってみると、議会がずいぶん変わってきたように思う。

議会報告会の開催、一般質問での一問一答方式の導入、町民アンケートの実施、視察研修、議会だよりの充実などが図られた。

当委員会も、昨年21回の会合を持ち、町民に分かりやすい誌面を心がけてきた。

今後も町民のために、さらなる努力をしていきたい。(浦木秀雄)

議会広報常任委員会

- 委員長 浦木 秀雄
- 副委員長 山本 恒和
- 委員 安岡 邦彦
- 委員 野村 満久
- 委員 久米 里志

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷 有限会社 宿毛印刷